

<福島第一原子力発電所プラント状況等のお知らせ>
(7月22日 午前10時現在)

平成23年7月22日
東京電力株式会社
福島第一原子力発電所

福島第一原子力発電所は全号機（1～6号機）停止しています。

1号機（停止中）

- ・ 3月12日午後3時36分頃、直下型の大きな揺れが発生し、1号機付近で大きな音があり白煙が発生しました。水素爆発を起こした可能性が考えられます。
- ・ 3月23日午前2時30分頃、給水系から原子炉への海水注入を開始しました。
- ・ 3月25日午後3時37分より原子炉への淡水の注入を開始し、現在は外部電源から受電した電動ポンプで淡水の注入を行っています。
現在の注水量は、給水系配管から約3.7m³/時です。
- ・ 4月7日午前1時31分、原子炉格納容器内へ窒素ガスの注入を開始しました。

2号機（停止中）

- ・ 3月15日午前6時頃に圧力抑制室付近で異音が発生、同室の圧力が低下しました。
- ・ 3月26日午前10時10分より原子炉への淡水の注入を開始し、現在は外部電源から受電した電動ポンプで淡水の注入を行っています。なお、1・2号機の原子炉への注水は7月17日午後2時25分以降、2号機用の電動ポンプにより行っています。
現在の注水量は、給水系配管から約3.4m³/時です。
- ・ 6月28日午後8時6分、原子炉格納容器内へ窒素ガスの注入を開始しました。

3号機（停止中）

- ・ 3月14日午前11時1分頃、1号機同様大きな音とともに白煙が発生したことから、水素爆発を起こした可能性が考えられます。
- ・ 3月25日午後6時2分より原子炉への淡水の注入を開始し、現在は外部電源から受電した電動ポンプで淡水の注入を行っています。
現在の注水量は、給水系配管から約9.0m³/時です。
- ・ 7月14日午後8時1分、原子炉格納容器内へ窒素ガスの注入を開始しました。

4号機（定期検査で停止中）

- ・ 3月15日午前6時頃、大きな音が発生し、原子炉建屋5階屋根付近に損傷を確認。
- ・ 現時点において、原子炉格納容器内での冷却材漏えいはないものと考えています。

5号機（定期検査で停止中）

- ・ 安全上の問題がない原子炉水位を確保しております。
- ・ 3月19日午前5時、残留熱除去系ポンプを起動し、使用済燃料プールの冷却を開始しました。
- ・ 3月20日午後2時30分、原子炉は冷温停止状態となりました。
- ・ 7月15日午後2時45分、本設の残留熱除去海水系（B系）ポンプによる残留熱除去系（B系）の運転を開始しました。
- ・ 現時点において、原子炉格納容器内での冷却材漏えいはないものと考えています。

6号機（定期検査で停止中）

- ・ 安全上の問題がない原子炉水位を確保しています。
- ・ 3月19日午後10時14分、残留熱除去系ポンプを起動し、使用済燃料プールの冷却を開始しました。
- ・ 3月20日午後7時27分、原子炉は冷温停止状態となりました。
- ・ 現時点において、原子炉格納容器内での冷却材漏えいはないものと考えています。

使用済燃料プールの冷却作業

- ・ 5月31日午後5時21分、2号機の使用済燃料プール冷却浄化系の代替冷却装置によるプール水の循環冷却を開始しました。
- ・ 6月30日午後7時47分、3号機の使用済燃料プール冷却浄化系の代替冷却装置によるプール水の循環冷却を開始しました。
- ・ 今後とも使用済燃料プールの状況を確認しながら、必要に応じて放水・注水を実施したいと考えています。

負傷者等

- ・ 7月18日午前10時6分頃、発電所展望台入口付近で光ケーブル接続作業を行っていた協力企業作業員1名が電柱から落下したため、総合磐城共立病院へドクターヘリで搬送しました。診察の結果、右橈骨遠位端骨折、左橈骨頭骨折、左肘内側側副靭帯損傷と診断されました。

その他

- ・ 5月10日午前11時、6号機原子炉建屋地下から同号機廃棄物処理建屋へ溜まり水の移送を開始しました。
- ・ 6月13日午前10時頃、2、3号機スクリーンエリアに設置した循環型海水浄化装置の運転を開始しました。
- ・ 6月17日午後8時より水処理設備において滞留水の処理を開始しました。
- ・ 7月2日午後6時、水処理設備による処理水を、バッファタンクを経由し、原子炉へ注水する循環注水冷却を開始しました。
- ・ 7月18日午前8時30分、3号機タービン建屋屋上開口部の雨水対策として仮屋根の取り付け作業を開始しました。
- ・ 7月21日午前11時、6号機タービン建屋内から仮設タンクへ溜まり水の移送を開始しました。
- ・ 7月16日午前10時50分から7月21日午後3時59分まで、3号機タービン建屋から集中廃棄物処理施設プロセス建屋への溜まり水の移送を行いました。
- ・ 7月16日午前10時56分から7月21日午後4時4分まで、2号機タービン建屋から集中廃棄物処理施設プロセス建屋への溜まり水の移送を行いました。
- ・ 7月21日、5・6号機電源の夜の森線2回線化の復旧工事のため、夜の森線1Lと接続されている大熊線3Lを停止するための電源切り替え作業を開始しました。それに伴い午前8時2分に3号機使用済燃料プール冷却浄化系の代替冷却装置を停止し、午前8時38分に水処理設備を停止、また午前8時40分に共用プールの冷却を停止しました。その後、大熊線2Lよりの受電完了により、午後2時41分、共用プールの冷却を開始し、午後2時52分、3号機使用済燃料プール冷却浄化系の代替冷却装置を起動しました。また、7月22日午前0時28分に水処理設備を起動し、午前0時40分に滞留水の処理を再開しました。
- ・ 7月22日午前7時10分、大熊線2Lから受電している母線のしゃ断器が過負荷により作動したため、3号機使用済燃料プール冷却浄化系の代替冷却装置、水処理設備、共用プールの冷却設備、3・4号機炉内監視計器類、免震重要棟電源が停止しました。なお、別系統からの電源である1～3号機の原子炉注水設備、1～3号機の原子炉格納容器窒素ガス封入設備、全モニ

タリングポスト、2号機使用済燃料プール冷却浄化系の代替冷却装置、1・2号機炉内監視計器類、5・6号機の全設備に影響がないことを確認しました。現在、原因を調査するとともに、電源の復旧作業を行っております。

- 安全の確保に向け全力を尽くすとともに、引き続き周辺環境のモニタリングを継続・監視しています。

以 上